



すまいるだより

「社会のルールの教え方」

vol 4

み なさんこんにちは。今回のテーマは、「社会のルールの教え方」について考えてみたいと思います。

人 は生まれてからたくさんの人と出会い、その関わりの中で無意識的に、「してはいけないこと」、「した方がいいこと」などの暗黙のルールを身につけています。ところが子どもは、活発な子・人見知りをする子・物怖じしない子・引っ込み思案の子・せっかちな子・マイペースの子など、いろいろなタイプの子もがいて、一口に「子ども」といっても、子どもが10人いれば、10人それぞれに性格や行動が違うことが当たり前とされています。

た とえば「遊びのルールが守れない」ということもひとつの例です。

初 めての遊びに取り組むているから自分もこうしよう」と自然に判断できたり、「ルールを守りましょう」と注意をされてすぐに改善できるようなのであれば、関わり方の工夫は必要ありません。

し かし、集団内での行動の善し悪しを周りの様子から推察したり判断することが苦手な、注意されても同じことを繰り返してしまうときは、子どもが気づくことを待つだけではなく、暗黙のルールを「明確に教えていく」という手段が有効とされています。



そ の手段のひとつが「ソング(SST)」です。SSTという言葉を聞きなれない方も多いと思いますが、SSTは「社会で生きていくうえで必要な技術を習得するための訓練」とをいい、家庭や学校で取り入れることができる手段です。

先 ほどの「遊びのルールが守れない」例に対しては、「遊びのルールが守れるようになる」という目標を立て、

- ① ゲームは負けることもあるということを知る。
 - ② 負けても楽しいという感覚を身に付ける。
 - ③ 悔しくても自分の感情をコントロールする。
- といった小さなステップを作り、その一つ一つの過程を丁寧に踏み、ゆつくりと社会性を身につけさせていく訓練を行います。

【子育てのご相談】
 子育て世代包括支援センター「えがお」(健康福祉課内)
 電話 0241(62)6170
 メール egao@nani.aizu.or.jp

【参考図書】
 「マンガでわかる よのなかのルール」横山 浩之 著

社 会のルールを暗黙の了解とせず、きちんと教えることは意外と有効です。家庭でできるSSTとしては、ご紹介する参考図書を、子どもと一緒に読みながら行うものがあります。また、より専門的に実践する方法として、ペアレントプログラムなどもありますので、興味のある方は子育て世代包括

支援センター「えがお」までご連絡ください。
社 会のルールは、子どもたちが遊びや経験の中で自然に学ぶものもあれば、機会を作って教えていく場合があることを、ぜひ心に留めていただきたいと思います。

